



追跡レポート

あの案件はどうなった？

『旧久木野庁舎利活用編』

平成29年4月 **庁舎が開庁**
 統合により、旧3庁舎は閉庁し、空き施設へ。

平成29年6月・9月 **定例会一般質問**
 太田議員:「空き施設の管理計画は」
 笠野議員:「旧久木野庁舎の活用は」
 今村輝議員:「村内施設の動向は」
 吉良村長:
 「具体的な利活用は検討委員会を作り、協議を」

平成29年9月～平成30年1月
 「地域活性化公共施設等利活用検討委員会」が発足
 議会から3常任委員長が委員に。全4回の会議を経て、
 村内遊休施設に関する答申をまとめた。

平成30年2月
 吉良村長に、検討委員会からの「答申書」が提出された。

平成30年9月定例会
 合同常任委員会における笠野議員の質問に対し、
 吉良村長は「村民から図書館の要望が強い。2階
 は図書コーナー、3階をキッズコーナーへの改修を目指
 したい」と答弁。

平成30年11月～現在まで
 新たに「公共施設利活用等推進委員会」が発足。
 先の検討委員会での答申を推進する目的で発足し、現在
 も他の空き施設を含め、事業の進捗を確認している。

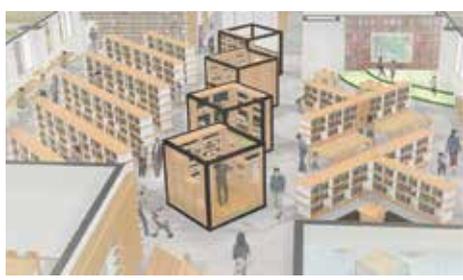
令和元年12月定例会
 実施設計の委託費1210万円を予算化。計画では、令和
 2年3月までに設計を完了させ、夏から改修工事に着手。
 令和2年度末に開館を予定している。

議会に公表された計画概要

- ・当初の通り、2階に図書室、児童図書から大人向けまで蔵書4万冊が目標、休憩スペースや学習室も併設する。
- ・議場があった3階部分を子育て支援ルームに（新生児～2歳児用、3～5歳児用の2部屋）、集会ホールはそのまま活用する計画。
- ・改修費が約3億4千万円、年間維持費に約2500万円を想定している。



3階「子育て支援ルーム」イメージ



2階「図書室」イメージ

検討時間も長く、村長の方針表明からも1年余り、ようやく実施設計が予算化された。今後は、改修・維持管理の費用が課題だ。広く、村民から活用される施設に生まれ変わるよう引き続き、提言を続けたい。

広報紙クリニックで好評価

出席者：広報委員5名 事務局1名

11月22日、熊本県市町村自治会館で開催された町村議会広報研修会に参加した。冒頭、講師の越地真一郎氏による『議会広報が地域で存在感を増すためには何が必要か、持続可能な広報紙を作成するための工夫』などの講話を受けた。

その後、町村ごとにクリニックが行われ「すいげん」は45号から、『フルカラー』『左綴じ横書き』に大幅にリニューアルしたことなど好評価であった。

最後に、全国コンクールでの上位広報紙の説明を受けた。それらのデザインや編集の仕方等を参考にしながら、今後も読み手に伝わる広報紙を目指し、委員全員で取り組みたい。



クリニック受講の様子